



『新しい図書館と健康センターの複合施設に関する基本設計書（案）』パブリックコメントの結果

No.	頁	項目	意見	回答
1	—	その他	子供から高齢者迄の居場所くつろげる場所	「図書館」や「エントランスホール」、「親子の遊び場」、「多目的室」、「ごろごろ芝生広場」等のエリアを使用しながら、子どもから高齢者までがくつろげる場所となるような施設運営に努めてまいります。
2	—	その他	コーヒーショップを必ず開店してください！いこいの場で住民集まります	カフェに対するご要望を多数いただいておりますので、今後カフェ事業者等とも協議を行いながら開店できるように準備を行ってまいります。
3	—	その他	下からの階段取付は利便性が上りグッドアイデア！	利便性向上のため、長与中央橋方面から「坂のこみち（階段）」を設置する予定としております。
4	4	トイレについて	多目的トイレは男女のトイレの中に、それぞれ設けることはできないでしょうか。	多目的トイレ（バリアフリートイレ）は、異性による介助が想定されるため、男女共用便房を1室は設置することが必要です。男女のトイレに更に1室ずつ設けることにつきましては、利用頻度と施設面積、事業費等の面から可能か検討いたします。
5	4	トイレについて	男女のトイレの入口は、できるだけ離すことはできないでしょうか。 理由) 犯罪を誘発しない為、犯罪機会論に基づく設計	男女のトイレの配置につきましては、施設面積・事業費等を含めた観点から検討いたします。
6	4	学習室について	学習室をもう少し広く、席が増えると良いと思います。	学習室（カラーニングスペース、サイレントスペース）については、室内でグループ学習や読書が出来るような場所を想定していますが、図書館の開架スペース内やエントランスホール（交流スペース）にも机・椅子やテーブルを設け、学習などが出来るスペースを設ける予定としています。学生の利用も多く見込まれますので、多くの学習スペースを確保できるように今後詳細について検討いたします。
7	8	駐車場から入口までの歩道	駐車場から建物入口まで、歩行者用の歩道の色分けを道路に表示して欲しいです。駐車場から建物までの横断歩道も増やして欲しいです。	歩車道の色分けにつきましては、皆様が安全・快適に利用いただくうえで必要なものであると考えております。実施設計で検討させていただきます。
8	8	建物入口、道路側	建物の入口側や建物と道路に面する場所にガードレール。車が衝突しないように防護するものを設置して欲しいです。	皆様が安全・快適に利用できるように実施設計で検討させていただきます。
9	9	芝スペースについて	芝広場は高台で熱中症予防の為、屋根や木陰のできるスペースがあると良いのではと思います。	ご意見も踏まえ、皆様が安全・快適に利用できるように実施設計で検討させていただきます。
10	2	駐車台数	全駐車場の3分の1以上が軽自動車専用なのは過剰ではないか。図書館や健診に訪れる家族連れが使うようなワンボックスカー等をとめられる大きさの枠を増やすべきだ。	現在の設計案は、整備基本計画に記載された120台の台数を確保するため、台数を重視した設計案となっております。ご意見も参考に、利用者の方が安全・快適に利用できる配置になるように検討してまいります。
11	2	防災備蓄倉庫	長崎大水害のような長与川氾濫時には、丘の上の公共施設として避難所はもちろん、役場業務の一時移転先としての機能が期待できる。防災備蓄倉庫は規模を拡充し、館内に設けるべきだ。	当施設は、災害時等において「指定避難所」として利用される予定となっております。避難所として利用されている他の施設と同等の備蓄品等の準備を予定しています。長与町では、大規模災害時における役場機能の代替場所としては水道局庁舎等が想定されています。
12	3	1F内部計画	乳児健診で利用する施設であるのに、授乳室が狭すぎる。より広く、また男女共同参画の観点から2室以上準備すべきだ。	授乳室につきましては、利用頻度や施設面積・事業費等を含めた観点から実施設計で検討させていただきます。

No.	頁	項目	意見	回答
13	4	2F内部計画	子ども向けと大人向けのスペースはどのように分けられるのか。現図書館には児童書コーナーの真ん中に畳スペースがあり、子供の頃よくそこで読んでいたので、そのような場所がほしい。 また、南東（開架書庫）側に階段やエレベーターがないので、火災・災害時に避難が難しいと感じる（特に高齢者）。	開架スペース内は、主に北側を児童開架スペース、南側を一般開架スペースとして区分けすることを想定しています。また、児童開架スペース内にはお話しスペースも設ける予定です。避難経路については、2階から屋外に出ることができる階段の追加設置についても検討しております。
14	7	外構計画の図面	「坂のこみち」の階段は、高齢者や子供には急すぎ。特に小学生は長与小から直接階段を上ってくるだろうから、きつい。斜面に対して平行に造れば、傾斜が改善されるはずだ。	階段の踏み面や蹴上は、バリアフリー法の基準を遵守し、高齢者や子どもにも利用しやすい仕様とするほか、途中に踊り場やベンチなどを設けることで、休憩したり風景を楽しみながら登ることができるような造りにする予定です。また、階段の長さに応じた整備費用が必要になるため、出来るだけ合理的な設置方法を取りたいと考えています。
15	8	動線計画	イオンタウン前の交差点から、西側にまわり込まなくても階段かスロープで直接アプローチできるようにしてほしい。	イオンタウン前の交差点から直接アクセスする案につきましては、設計初期段階にも検討してまいりましたが、既存法面の工事費用や埋設物の移設費用から実現は難しいものと判断しております。
16	—	ネットワークについて	（長与町複合施設整備基本計画P22）長与町には公民館、勤労青少年ホーム、働く婦人の家など公共施設に図書室があります。図書館開館を機に是非その本をネットワークでつないで、自動車文庫も含めて本がもっと活きるようにお願いします。図書館まで来館できない人の利便性を考慮し、どこで借りてもどこで返してもいい。また、本をリクエストして自分の近くの公共施設に届けもらうサービスも出来たらと思います。また駅に返却ポストがあると便利だと思います。 ちなみに長崎市立図書館ではこのような体制が整っています。	各公共施設の図書室とのネットワーク化については、新図書館整備および図書館システムの更新に伴い、利用者の利便性が向上するよう検討してまいります。また、来館できない人へのサービスについては、公共施設を活用することを含め当町に最適なものを検討してまいります。
17	—	友の会活動について 部屋使用について	（長与町複合施設整備基本計画P22下から2行、P24⑤）現在長与町の図書館には利用者友の会など図書館で活動しているグループが約10位あります。新図書館が出来たらいろんなイベントが開催できると思うのでその企画や運営などをやる図書館友の会が必要になってくると思います。行政はそのような活動を促進する支援を是非お願いします。 部屋数が少ないので今まで通り活動出来るか不安です。部屋の使用が不便になるのではないかと危惧しています。	図書館と協働してイベントの企画や運営に携わっていただく個人や団体の活動を支援していきます。図書館内の部屋については、開放感のある開架スペースを確保するため、また施設面積・事業費等を含めた様々な観点から部屋数は少なくなっております。複合施設全体で効率よく利用できればと考えております。
18	—	運営管理体制	（長与町複合施設整備基本計画P36（2））現在、長与町の資料や書籍などでわからない事があると司書に尋ねて解決することが多々あり心強いばかりです。新図書館が2階になり、司書の負担が重くなるのではないかと懸念されます。司書が本例の職務に専念できるように是非配慮をお願いします。 今後毎日の業務に加えて新図書館への準備作業が増えてくると思いますので新図書館への体制を早々に整えていただきたくお願いします。	職員の雇用形態につきましては、直接雇用や外部委託を含め協議を進めてまいります。
19	7	外溝計画	上にも下にも公園があるので、ごろごろ広場は必要ないと考える。真夏や冬の利用が見込めないのではないかと。 現場を見たときに、想像していたより広がったので、何か若い人が集まるようなスペースにしてほしいです。 自分の考えは、大村にできたボルダリングセンターかスケートボードパークみたいなものが出来たらいいと考えます。	ごろごろ広場については、イベント等の開催も含め多様な使い方が出来るようなスペースを想定しております。 スケートボードパークについては、近隣への音の影響などが予想されるため難しいと考えておりますが、ご意見のとおり若い方の利用も含め、幅広い年齢層の方にお使いいただくために有効なスペースとなるように検討してまいります。
20	—	120段の階段	誰も120段の階段など登りたくない。これも何とか対策を考えないと利用が減ってしまう。予算が無いという理由で何もしないのは間違っている。利用しやすいを第1に検討してもらいたい。	事業費等の制約がございますが、多くの皆さまのご意見を参考に、利用しやすい施設となるように努めてまいります。

No.	頁	項目	意見	回答
21	—	設計の見直し	今からでも設計の見直しをしたらどうだろうか。2階に10万冊の蔵書は安全と言えるのか。健康センターとの2階建ではなく、図書館メインの併設型でいい。健康センターのスペースは、もっと縮小していい。遊具施設も不要。	2階の荷重に関しては、構造計算の中で安全性に問題が無いこと確認しておりますので、安心してご利用いただけます。 当施設は図書館と健康センターを中心的な機能とした複合施設であり、健康センターで実施する保健事業等に必要なスペースを確保しております。また、遊び場については、利用者を対象に行ったアンケートの結果において、特に要望が多かったことなどから整備することとなったものです。
22	—	交通手段の確保	あの場所に建てるしかないのなら、交通手段の確保が必要。その際には、新図書館のためだけではなく、町内循環型のミニバスをセットにして検討してもらいたい。長与町は車を運転できない人にはとても不便な町だ。社協が所有しているバス等を利用し、運転手はシルバー人材センターに依頼してはどうか。	交通については、民間事業者とも連携しながら可能性を検討してまいります。
23	—	貸出方法	(長与町新図書館基本構想・基本計画P11(2) 運営③貸出方法) たらみ図書館の様に借りている本のタイトル貸出期間がわかる様にしてほしい。	図書館システムの更新に伴い、レシートの印刷についても検討してまいります。 また、長与町図書館では返却予定日を記載した用紙をお渡ししていますが、タッチパネル検索機を利用して、読書手帳シールをプリントできますので、ご利用ください。スマホ等から長与町図書館ホームページへログインし、確認することもできます。
24	—	貸出期間	(長与町新図書館基本構想・基本計画P11(2) 運営⑤貸出期間) 多数の図書館から借りていると、どの本をどこへ返すがわからないと大変です。	同上
25	—	郷土資料	(長与町新図書館基本構想・基本計画P12(2) 運営⑦郷土資料) 拙作絵本郷土資料にしないで、子どもが手にとれる様にしてほしい。	当該絵本については、郷土資料コーナーではなく、子どもたちが手にとれるように絵本コーナーに配架しています。また、長与町の作家コーナーを設けています。
26	—	健康センターとの複合施設整備	(長与町新図書館基本構想・基本計画P19②健康センターとの複合施設整備) 健康センターは、体育館にでも複合して欲しい。文化を大切に。	健康センターでは、集団健診や食・運動に関する取組み、健康相談や健康教育、乳幼児や親子を対象にした母子保健事業、高齢者を対象にした介護予防事業など、町民の皆さまの健康に資する事業を実施しています。現在は高田地区に拠点がありますが、建て替えにあたり町内全域からアクセスしやすい中央地区に整備することとしています。
27	—	機能イメージ	(長与町新図書館基本構想・基本計画P24⑥機能イメージ) ギャラリー併設を。絵本の原画展ができる様に。	エントランスホールやミーティングルーム、多目的室などで展示会やイベントを開催することを想定しております。
28	—	つながる	(長与町新図書館基本構想・基本計画P35(2) つながる) 絵本の読み聞かせ、ピアノの設置、音楽イベントが出来る様なデザインに。	絵本の読み聞かせにつきましては、児童図書スペースや子どもの遊び場を使って開催することを想定しております。楽器や音楽イベントについては、近隣への音の影響も考慮しながら、開催可能性を検討してまいります。
29	—	貸出冊数	(長与町新図書館基本構想・基本計画P40(3) 貸出冊数) たらみ図書館の様に3日前3日後までの延長を受け付けてほしい。	長与町図書館ではカウンターにて、期限前から当日まで、申請日より2週間の延長を受け付けています。多くの方が利用できるよう、期間内の返却についてご協力をお願いします。
30	4	トイレ	トイレのドアは引き戸に全てして欲しい。トイレのドアにフックを付ける際は2カ所にして欲しい。トイレ内に物置台を設置。	バリアフリートイレには全室引き戸を採用することとしております。一般トイレについてはスペースの制約も考慮した上で可能か検討いたします。フックと物置台につきましても設置について検討してまいります。

No.	頁	項目	意見	回答
31	8	駐車場	安全地帯を設置して欲しい(全て)。障害者(一般)と車イス専用駐車場を区分して欲しい。	バリアフリー法等の関係法令に準拠した上で、安全性・利便性を考慮しながら検討してまいります。
32	1,3	設計基本方針 内部計画	<p>コンセプト自体に問題があるとは思いません。それに異を唱える考えはありません。しかし、そのコンセプトと内部計画の図面に、箱の青写真は立派に描かれているけれども、有機的な人と本、人と情報、人と人が結びつく上での青写真が多少欠けているように感じました。</p> <p>20年ほど前、伊万里市民図書館を訪れた際、市議も務めるボランティアが図書館を紹介していただき、ボランティア室や市内各地に図書を届ける巡回図書のため配車サービスのスペースを図書館に設けたこと、市民や教員が図書館の資料を使用して、学習資料を作成することができるスペースが設けられていることを紹介していました。長与町図書館からも、町内に車を乗せて町内を定期的に巡回するサービスが提供されてきていたと思いましたが、内部計画にはそのためのスペースが見当たらないと思いました。</p> <p>また、図書館の場所が移動することに対する高齢者の不満も耳にしたことがあり、介護保険の仕組みに総合計画といった、市民によるサービスの提供が位置付けられているように思いましたが、駐車場とは別に、図書館まで近隣や自宅から車で移動の手助けをするボランティア、あるいはボランティアグループの形成は必要になるのではないかと想像します。地域通貨のようなものを設け、定期的に週に何回か、移動の支援を利用する人とそれを手助けするボランティアをつなぐ仕組みについて、緩やかに町内で図書館までの移動をつなぐ有機的なしくみを、実現が難しいことも予想されると思いますが、想定しておくことは必要ではないかと思いました。</p>	<p>ボランティア室および自動車文庫の車庫兼作業場については、施設面積・事業費の観点から設置することができませんでした。ボランティア等との協働や自動車文庫の活用については、検討してまいります。</p> <p>また、アクセス面については、民間事業者とも連携しながら可能な方法を検討してまいります。</p>
33	3	内部計画	玄関が2箇所あるみたいなので、階段はもっと真ん中にあった方がいいのではないのでしょうか。また、階段を上ってすぐに図書館のカウンターがある方が利用者にとっては便利だと思います。	階段の設置位置については、ご意見も踏まえながら、利用しやすい配置について再度検討いたします。
34	3	内部計画	カフェ事業者はもう決まっているのでしょうか？とても楽しみです。	現在、カフェ事業者は未定です。今後、カフェ運営について対話を通じて民間事業者から広く意見を聞く「サウンディング調査」を行い、その後公募によりカフェが設置できるように努めてまいります。
35	—	複合施設全般について	老朽化更新に伴う両施設の跡地活用については町全体の公共施設の再配置をどうするか大きな方針の中で検討する必要がある。複合施設建設と一体として跡地活用構想を町民に示す必要がある。複合施設建設の建設だけ説明しても町民の理解は得られないと思う。跡地活用についてはどのような構想になっているのか。	両施設の跡地活用については、町内公共施設の更新や再配置などを含め、総合的な観点から現在検討しております。
36	—	複合施設全般について	複合施設の費用については土地購入代5億4,700万円と建設費2億2,900万円の合計27億7,600万円が示されているが、年間維持管理費用についてはこれまで説明されていない。年間維持管理費用を早急に町民に示されたい。また、複合施設は多額の費用がかかるため建設費用及び維持管理費用のコスト削減対策についてもどのように考えているか町民に示されたい。	建設費用・維持管理費用については、構造、配置、設備仕様等において、設計者とも十分に協議を行いながら、費用が抑えられるようなシンプルで無駄のない整備内容とすることに努めております。また、施設のZEB化により消費エネルギーと削減と再生可能エネルギーの活用を図ることとしています。現段階では、設備等の詳細な仕様について決定していないため、正確な維持管理費用が算出できておりませんが、将来への負担のかからない施設となるように努めてまいります。

No.	頁	項目	意見	回答
37	—	複合施設全般について	複合化施設においては、国家賠償法や消防法などの法的責任を念頭においた管理責任体制のあり方を明確にしておく必要がある。すなわち、建物全体の安全管理者選定などの安全管理体制や責任者を明確にしておく必要がある。今回の複合化施設は教育委員会生涯学習課、こども政策課、健康保険課など複数の部署が関係する。東京都荒川区ゆいの森あらかわの複合施設は図書館と子育て支援が融合した施設であるが、縦割り組織の弊害をなくすため複合化ではなく融合化とし、新しい課を新設して直営方式としている。今回の複合施設も東京都荒川区ゆいの森あらかわと同様に縦割り組織から脱却し、役場組織にこれを管轄する課を新設するか、もしくは全体的に町が保有している公共施設を管理する施設管理部（仮称）の新設を検討してはどうか。	当複合施設は、一つの建物に複数の機能や共用部が含まれるため、利用者目線での分かりやすい管理運営体制を構築するとともに、建物や設備といったハード面の維持管理についても、各機能を所管する課同士の縦割りを排し、建物全体を一体的に管理するなど、効率的な管理に努めてまいります。
38	—	複合施設全般について	本施設は建設費用が多額となるため、入札にあたっては公正性が損なわれないように、官製談合には十分に気を付ける必要がある。官製談合防止対策はどのように考えているか。	本町における官製談合防止対策としては、「長与町談合情報対応マニュアル」の職員への周知、公正取引委員会と協力した「町職員向け官製談合防止に関する講習会」の開催を行うなど、職員のコンプライアンス意識の醸成を図っております。また、業者の皆さまに対してもホームページ等を通して注意喚起を行っております。
39	—	複合施設全般について	屋根には日本的な切妻方式と陸屋方式根に大別されるが、今回の計画では切妻方式を採用されている。それぞれメリットとデメリットがあると言われている。陸屋根方式（本町役場庁舎が採用）は切妻方式に対し屋上が自由に使用できることで、最近では長崎駅前に建設されたアミュプラザ長崎新館では屋上庭園が開設され、賑わっている。是非検討して欲しい。	ご意見のとおり、切妻屋根、陸屋根それぞれにメリット、デメリットが考えられるところではございますが、水はけ、彩光、太陽光パネルの設置、屋内空間の意匠性といった観点から、今回はメリットの多い切妻方式を採用するものとしております。
40	—	複合施設全般について	法面の約2,000㎡の活用はどのように考えているか。	法面の有効活用について検討してまいりましたが、事業費から長与中央橋付近からの「坂のこみち（階段）」設置のみになる予定です。
41	—	複合施設全般について	脱炭素対策としてZEBの導入を検討されているが、これについての投資金額と投資回収期間はどのように算定しているのか。	今後、実施設計の際にZEB化の費用や回収期間を算定してまいります。

No.	頁	項目	意見	回答
42	—	複合施設全般について	<p>町内全域からのアクセス等利便性の確保について</p> <p>①本町は昼夜間の人口差が大きく平日は高齢者と子どもが多くを占める。駐車場は整備されているが、建設予定地は高台にあることからマイカーで来館できない高齢者や子どものために、複合施設へのアクセスの不便を解消するための手段としてバス便の増便を図るか、町独自の福祉バスの運行を図る必要がある。バス便は全国的な課題として運転手不足が問題となっており、増便は困難な状況にある。したがって、高齢者などの買物難民の救済を兼ねた町独自の福祉バスの運行を検討されたい。</p> <p>②徒歩で来館する人のために東側法面に階段が計画されているが、直線的な階段であり高齢者などには不向きである。長崎市の平和公園やグラバー庭園にはエスカレーターが設置されており、非常に便利である。本町も中尾城公園ではモノレールを採用している。また、長崎市のあぐりの丘では入口口の既設階段と並行して、高齢者などのために緩やかなスロープを新設されている。本町も高齢者や障害者、妊婦などに優しい環境を整備する必要があり、現在の直線的な階段は再考されたい。</p> <p>③ビューテラス北陽台およびイオンタウンへ向かう交差点の信号機が、坂を登りきったところにあるため、対向車線の直進車両が見えづらく、右折車がぶつかりそうになるため、時差式もしくは右矢印が付いた信号にして欲しい。また、渋滞緩和のための交差点の改善要望が町民から出ている。この交差点については早急に改善されたい。</p> <p>④坂の入口付近に町有地の空き地があるが、この土地を複合施設の駐車場として活用しアクセスの利便性を高めることを提案したい。</p>	<p>①交通については、民間事業者とも連携しながら検討してまいります。</p> <p>②長与中央橋付近からのエレベーターやエスカレーターの設置について検討しましたが、事業費の面から難しいと考えております。階段の踏み面や蹴上は、バリアフリー法の基準を遵守し、高齢者や子どもにも利用しやすい仕様とするほか、途中で踊り場やベンチなどを設けることで、休憩したり風景を楽しみながら登ることができるような造りにする予定です。また、階段の長さに応じた整備費用が必要になるため、出来るだけ合理的な設置方法を取りたいと考えています。</p> <p>③今後、必要に応じて警察等の関係者と協議して参ります。</p> <p>④複合施設敷地内に120台程度の駐車場を確保することで、アクセスの利便性を高めることとしています。長与中央橋付近の町有地については、利用者数が多い際の臨時駐車場等に使用できないか検討いたします。</p>
43	—	新図書館について	<p>長与町新図書館基本構想・基本計画の13ページでは「令和2年度の実利用者数は、3,650人程度（人口の9%）と少なく、新図書館の開館をきっかけとして、さらに多くの町民が利用できるように、創意工夫をしていくことが大きな課題である」としており、まさに新図書館についてはこの課題が核心であり、克服する必要がある。</p> <p>現在の図書館の令和2年度の実利用者数3,650人を年間稼働日数約280日で除すると1日当たり約13人となり、かなり実利用者数が少ない。少ない原因は定かでないが、多額の費用をかけて実利用者数がこれまでと同じであれば大きな問題である。利用者増に向けてこれまでと違った創意工夫が必要である。創意工夫については抜本的な対策が必要と考えるが、これについてはどのような考えをもっているか。</p>	<p>実利用者数とは、登録者数のうち実際に図書館を利用した人数のことです。令和4年度の図書館利用者延べ人数は40,859人であり、1日平均として149人の利用があります。（令和5年度図書館概要より）なお、この数には閲覧者等の数は含まれていません。</p> <p>新図書館は図書の貸出や閲覧だけでなく、読書、調査、課題解決、交流など多様な利用が出来る第三の居場所（サードプレイス）として快適に過ごせる滞在型の図書館とします。また、複合施設となることから、他の目的で施設を訪れた方が気軽に図書館にも立ち寄るような工夫として、展示やおはなし会などのイベントをより充実させ利用者増に努めます。</p>
44	—	新図書館について	<p>図書館運営の要である司書については現在派遣職員であるが、町直接雇用の町職員として採用し待遇改善を図り、日々の図書館運営の充実を図るべきである。</p>	<p>職員の雇用形態につきましては、直接雇用や外部委託を含め協議を進めてまいります。</p>
45	—	新図書館について	<p>現図書館の本の蔵書数と本町の小中学校が所有している蔵書数はほぼ同じと聞いている。また、公民館や役場等に蔵書が散在している。新図書館建設を機会に長与町に散在しているこれらの蔵書を一元管理し共有化を図り、相互利用を促進すると共に、重複しての図書購入を避けるなど経費削減を図るべきである。また、著作権が消滅した作品などを無料でインターネット上の電子図書館として提供している青空文庫を積極的に活用すべきである。</p>	<p>各公共施設の図書室とのネットワーク化については、新図書館整備および図書館システムの更新に伴い、利用者の利便性が向上するよう検討してまいります。</p> <p>青空文庫につきましては、誰でもインターネットでアクセスできるため、町の電子図書館への導入は考えておりません。</p>

No.	頁	項目	意見	回答
46	一	新図書館について	蔵書数や内容については若者の本離れや電子図書、本を耳で聞くオーディオブック、インターネット上の仮想空間メタバースなどのデジタル化を考慮すると 抜本的に精査する必要がある。特に本町は全国的にも昼夜間の人口差が大きく平日は高齢者と子どもが多くを占める特殊性がある。この特殊性も考慮した蔵書数や内容を検討すべきである。また、書架は固定方式と聞いているが、今後の人口減少やデジタル化の進展等を考えると柔軟に対応しやすい移動式書架を導入し、今後のスペースの有効活用を図るべきである。	当町にあった蔵書構成や配架となるよう検討を進めてまいります。 また、限られたスペースの有効活用を図ってまいります。
47	一	健康センターについて	計画ではこれまで行ってきたこども政策課の乳幼児健診や健康保険課の集団健診などの法定健診が中心であるが、これまでと違った健康管理内容を取り入れて充実して行く必要がある。具体的には保健師が常駐し、プライバシー確保対策を講じた上で、一般町民への健康相談や生活改善指導等を行い町民の健康維持増進を図っていく。一般的に保健師の役割は「個人の健康相談にのったり、生活改善のためのアドバイスやサポートをしたりするほか、「企業の従業員」や「地域住民」といったコミュニティ全体の健康を推進していくという働きも担っている。少子高齢化やメンタルヘルス問題、メタボリックシンドロームなど、昨今の日本社会が抱える健康上の問題は数多くある。これらの問題に取り組み、人々がより健康的な生活を送れるように尽力するのが保健師の仕事である」と言われている。毎日の常駐が困難であれば週1回程度 定期的に一般町民向けに健康相談等を開催実施し、町民の健康維持増進に寄与していくことが望まれる。 公表されている「令和4年度長与町人事行政の運営等の状況」によると本町役場には10名の保健師が在籍されている。是非、新健康センター建設を機会に一般町民の健康相談や健康講座等を積極的に開催して町民の健康維持増進に取り組んで頂きたい。	現在、「健康寿命の延伸」、「健康格差の縮小」を目標に母子保健事業、健康増進事業、介護予防事業等に取り組んでおり、健康寿命は県内でも男女ともに最長を記録しています。健康づくりはポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチの両輪と考え、対象者や地域の特徴に合わせて健康教育、健康相談、家庭訪問等を実施しておりますが、近年、家族環境や職場環境の変化により高い専門性と他課や他団体との連携強化が求められています。そのため、保健師を健康センターに常駐させるより、本庁にいて効果的な健康づくりが出来るものと考えております。しかしながら、今後新図書館・健康センターが開設し、実際利用される町民の方の状況によって対応していきたいと考えております。今後も法定健診の実施はもちろんのこと、健康づくりを行う民間企業や福祉施設、医療機関等との連携を深め、長与町の健康づくりの環境を整えてまいります。
48	一	図書館機能整備方針の①資料の収集・提供	(新しい図書館と健康センターの複合施設に関するこれまでの経過についてP11) 新図書館等複合施設整備基本計画③の中にネットワーク関連の記載がありますが、主な方針にはありません。図書館サービス網は重要です。図書館から離れた地域に住む人などにも等しくサービスが受けられるよう新図書館の開館に合わせて各公民館図書室を分館(分室)として機能できるように計画してください。また現状の自動車文庫の運行も含めてきめ細かいサービスの提供をお願いします。	各公共施設の図書室とのネットワーク化については、新図書館整備および図書館システムの更新に伴い、利用者の利便性が向上するよう検討してまいります。また、自動車文庫等の図書館サービスについても、今後の管理運営費の中で活用できるよう検討してまいります。
49	一	②滞在型・課題解決型図書館を考慮した施設づくり	(新しい図書館と健康センターの複合施設に関するこれまでの経過についてP11) 本の読み語り、布絵本作り、イベントの企画などの活動をしている図書館利用者友の会の活動室(作業室)は設計書では1階の多目的室が想定出来ませんが、図面では広さや仕切りの有無など分かりません。複数グループで今まで通りの活動ができますか?	図書館と協働してイベントの企画や運営に携わっていただく個人や団体の活動を支援していきます。図書館内の部屋については、開放感のある開架スペースを確保するため、また施設面積・事業費等を含めた様々な観点から部屋数は少なくなっております。図書館利用者友の会や他団体への貸出部屋としては、多目的室やミーティングルームを予定しています。

No.	頁	項目	意見	回答
50	—	図書館機能整備方針 ②滞在型・課題解決型図書館を考慮した施設づくり	<p>(新しい図書館と健康センターの複合施設に関するこれまでの経過についてP11) 主な方針の中に、長与町図書館利用友の会との連携とあります。ありがとうございます。現在、その中の「中国の絵本を楽しむ会」に所属しています。活動は月に1回2時間、会議室で、短い中国語寓話を音読し、日本語に翻訳しています。必要に応じ中国語辞典や日本語の絵本を借用し、完成した訳文はまとめて図書館に寄贈しています。素人の集まりですが、ネイティブも加わり国際交流にもなっています。今回の基本設計書では、このような活動が出来る場所がどこなのか分かりませんが、是非確保をお願いします。また、折角新しく作るのだから、リモートでも参加できる設備の導入もお願いしたい。雨の日、体調不良など遠方からの参加をためらう時に助かります。よろしく、お願いします。</p>	<p>図書館内の部屋については、開放感のある開架スペースを確保するため、また施設面積・事業費等を含めた様々な観点から部屋数は少なくなっております。部屋の詳細については、実施設計で検討させていただきます。</p> <p>声を出しての活動のため、コーニングスペースの利用または1階のミーティングルームの利用をお願いします。</p> <p>リモートでも参加できる設備の導入については、事業費等を含めた様々な観点から実施設計で検討させていただきます。</p>
51	8	動線計画	<p>東側からのアプローチで階段が設けられる予定になっているが、歩行に支障のある人にはアクセスが容易でないと思われる。特に雨の日は傘をさしてとなるとさらに不自由であることから、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根をつける</li> <li>・休憩できる踊り場の増設（イスの設置）</li> <li>・スロープの設置</li> </ul> <p>も検討してはどうか。コスト面も大切だと思うが、検討の余地は欲しい。</p>	<p>階段の踏み面や蹴上は、バリアフリー法の基準を遵守し、高齢者や子どもにも利用しやすい仕様とするほか、途中で踊り場やベンチなどを設けることで、休憩したり風景を楽しみながら登ることができるような造りにする予定です。屋根やスロープ設置については、設置が可能かどうか検討いたします。</p>